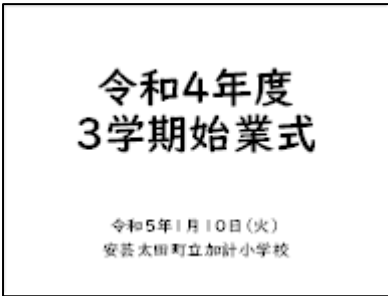


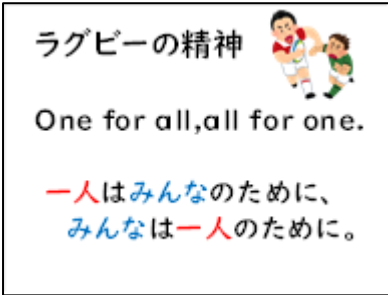
令和4年度3学期終業式式辞



皆さん、あけましておめでとうございます。冬休みはどうでしたか。楽しく上手に過ごすことができましたか。

さて、今日から3学期です。短い学期ですが、しっかり充実したものにしてほしいと思います。

今日は「ラグビー」のお話をしたいと思います。



皆さんは、ラグビーというスポーツを知っていますか。テレビでみたことがある人もいるかもしれませんね。私は大学時代に大学のラグビーチームのマネージャーをしていました。4年間、そのチームですごしながら、「ラグビーの精神(大切にしている考え方)」に触れ、ラグビーというスポーツがとても好きになりました。いつか小学生に話をしたいと思っていました。

ラグビーで大切にしていること「One for all, all for one.」日本語で言えば「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という言葉です。その言葉の意味を今日はみんなと考えてみたいと思います。



(※ラグビー選手たちとサッカー選手たちの体格を比較する写真を見せて) 違いがわかりますか。比べてみると、ラグビーの選手は様々な体格の人がメンバーになっていることがわかります。背の高い人、小柄な人、体が大きくてがっしりしている人などなど。ラグビーはどんな体格、体力、得意な技能のタイプの人でも活躍できるポジションがあるとされているスポーツです。それはなぜなの

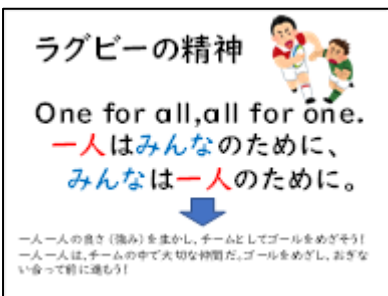
か、少し競技の中身を見てみましょう。

- ①スクラムを組む(ボールをうばう)
- ②ラインアウト(空中でボールをうばいあう)
- ③ボールを持って走る
- ④タックル(体当たりしてボールをもっている敵をたおす)
- ⑤パスをつなぐ(前にはなげられないルール)
- ⑥トライ(つないだボールをゴールラインにタッチする)
- ⑦ゴールキック(地面に置いたボールをキックしてゴールポストに蹴り入れる)

主な場面だけでもこれだけあります。力強さが求められるもの、高いジャンプ力やすばやく動く力など得意な技術も多様です。

だからこそ、それぞれの場面で力を発揮できるようにいろんなタイプの選手が集まって1つのチームを作っている

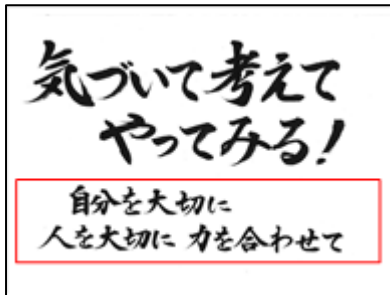
わけです。こうして1つのボールをみんなでつなぎ、トライで得点をとることを目指す競技です。そして、ゲームが終われば、「ノーサイド」といって、敵味方なしでお互いの姿をたたえ合うというのもラグビーで大切にしていることです。最初に話した「一人はみんなのために、みんなは一人のために」の意味が分かりましたか。



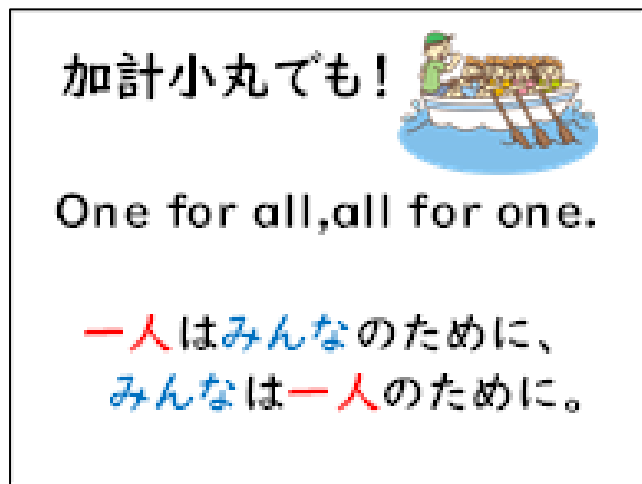


チームのメンバー一人一人には、良さや強みがあり、それぞれが自分の得意なことで力を発揮する—そのことはチームを強くすることにもなるし、逆にそれぞれの弱みや不得意なことは同じチームの中で、補い合いながら目指すゴールに向かっていこうという意味だと私は考えています。

こうしてみると、加計小学校も大きな1つのチームです。学校の中でも、いろいろな場面があり、いろいろなタイプの子どもたちがいます。得意なことそうでないことをお互いに助け合って、加計小として、クラスとして、チームとして、ゴールを目指すという点では、ラグビーチームと同じだと思いませんか。



今年度、加計小学校の目標に向かってみんなががんばってきています。最後の3学期、このメンバーで過ごせるのもあとわずか!6年生は48日、1~5年生は52日です。



限られた時間ですが、加計小丸でも「One for all, all for one.」—「一人はみんなのために、みんなは一人のために」の気持ちをもって、締めくくりの日々を充実させましょう。

令和5年1月10日 校長 萩原 英子